



飯能ロータリークラブ会報

桜の中央公園と天覧山

© photo by Hiroyuki Maejima

“ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を”

RI会長
ロンD.バートン
2570地区ガバナー
中井 眞一郎

継続 変革 簡素 充実

第 2596 例会 2014. 5. 21

例会場：マロウドイン飯能 〒357-0021 飯能市双柳105-8
☎ (042) 974-4000
事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7
☎ (042) 974-3111(代) FAX (042) 973-1662
http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

天候 雨 (NO. 50-47)

会長 吉田武明 幹事 山岸敬司

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 木川君、小崎君

- ・点鐘 吉田武明会長
- ・ソング 手に手つないで
- ・卓話 塩島達三様

【会長報告】

小谷野SAAが腰を痛め親睦旅行を欠席、今日も起きられないとの事で矢島(高)副SAAをお願いします。本日、日高RCチャリティコンペに当クラブより数名参加。親睦旅行、有難うございました。クラブ協議会は順番の入れ替えも出来ます。当年度も来月でぐり。会計から早目に事務局に申告をとの事です。

【幹事報告】

ようやく声が出るようになりました。普段良く喋る方が狙われるウイルスのようです。矢島(巖)、中里(忠)会員もどうぞご留意を。

【委員会報告】

- ◎親睦活動委員会 吉田(行)君
天気に恵まれ大過なく無事親睦旅行を終えました。ご協力に感謝申し上げます。
- ◎社会奉仕委員会 杉田君
飯能新緑ツーデーマーチ、9時半出発です。
- ◎雑誌委員会 土屋(良)君
「友」5月号紹介。表紙には長野県・聖山高原でシャッターチャンスをとらえて撮った写真。横組P3、RI会長メッセージ「ポリオ撲滅のゴールは目の前」。P8、京都伏見RC、沖縄のサンゴ再生事業。植え付けは在来種をダイビ

ングライセンスを取得して行っているとの事。P16「イギリスから震災孤児を見守る」英国で団体を立ち上げ、両親を亡くした子どもの教育費用を援助、英国に招待する等の活動を行う。縦組P4「発達障害に気がつかない大人たち」大人になっても障害が残る人が多く、いろいろな問題を引き起こしています。

◎ローズガーデン・ティータイムご招待 森君
5/25(日)14時。拙宅にて薔薇とハーブのひとつときをご一緒頂ければ光栄です。

【出席報告】無断欠席なし 松下出席委員

会員数		当日		前々回修正 出席率
全数	対象	出席数	出席率	
61名	6名	53名	86.21%	85%

【M U】

5/20 (八潮) 塩野君

5/21 (日高) 橋本君、田辺君、吉田(健)君

【SAA報告】

矢島(高)副SAA

◎ニコニコBOX

- ・親睦旅行大変お世話になり有難うございました。 矢島(巖)君、安藤君
 - ・早退 齋藤君、木川君、矢島(巖)君
- 本日計4,000円、累計額1,289,832円。
◎28日例会当番は柏木、神田(敬)会員です。

【卓話】

講師紹介

和泉プログラム委員

アライグマ被害が各地で増大しています。塩島様は研修会、捕獲についての講義を70回以上されています。飯能も大きな被害地なのだそうです。

鳥獣害の状況と 地域で取り組むべき対策

埼玉県鳥獣保護員 塩島達三様

埼玉県知事の委嘱で12年間、鳥獣保護員を務めて参りました。今日は「平成のあばれもの」と言われるアライグマについてお話します。

S37(1962)年、岐阜の可児川左岸に調査隊が入り野生化したアライグマの大量の痕跡を発見。これが第1次報告。S52(1977)年、バブル崩壊の寸前、アニメ「あらいぐまラスカル」がTV放映されます。米国の作家スターリング・ノースの原作。日本にアライグマを売り込めば儲かるというので原産地カナダの業者がどんどん繁殖させ、生後2、3週間の幼獣を日本に売りまくった。1頭10～11万円。飛ぶように売れて北海道から九州まで1万頭は仕入れたと言われます。ところが、獰猛なアライグマ科レッサーパンダと同様、アライグマ科アライグマを飼えるはずがない。ひと月1kgずつ成長し、子ども達がかわいいアライグマにミルクを与えて2、3か月もするとミルクが足らないと噛み付くようになる。犬猫と違い、飼い主にはお構いなし。傷だらけになって飼い切れずに逃がしてしまう。それが始まりでした。逃がす場所は、河川のきれいな中流域以上の山間部。4月に3～6頭の子を産み、翌年4月にはその子(メス)が成獣として子を産む。メス：オスは6：4の比率でどんどん繁殖し6～12年位生きる。野放しにして「タヌキだ、ムジナだ」と勘違いしながらずっと来てしまった。



H16年6月「特定外来生物法」施行。「野生化を許さない」「全部殺さなければしょうがない」と、捕獲に従事する人の底辺を広げる事になった。埼玉県もH18年、安全な捕獲法マニュアルを作りスタートしました。

都幾川、高麗川沿いには多く棲息します。簡単なわなで、怪我をしない方法、錯誤捕獲のない方法で捕獲します。夜行性・雑食性の中型哺乳類のアライグマは、シカ、イノシシの被害に比べて微々たるものようですが、実はどんどんPRしなければならぬ状況になっている。農作物だけでなく住宅にもひどい被害を及ぼしています。

ハクビシンとアライグマは同じ位の生息数で、アライグマは特定外来生物に指定されていますがハクビシンは昭和初期に台湾から入ったジャコウネコ科の動物。アライグマと同じ、果物を使ったわなにはハクビシンがどうしても入ってしまう。ハクビシンは電線を渡って家の天井裏に入る事が出来る。アライグマは木登り、泳ぎも上手。柱に爪を引っ掛けて登り、逆さに下りる技を持っている。スイカ、とうもろこしが大好物で被害も大きい。お寺やゴルフ場の管理棟、住宅の天井裏等で子育てする。糞尿をしますから、シミが天井に出て来たら要注意です。市役所に申し出て頂ければ捕獲従事者が必ず伺います。6月は授乳から離乳食に変わる時期、大きくなった子等が5頭もいると、老けた天井が抜けて、人の寝床の上にバーッと落ちてくる。そういう被害が私の知っている範囲で7件ありました。8kg位のアライグマ(柴犬位)はトウモロコシを根元からパキッと折って手で持って食べます。ノラネコを餌付けて家の周りに寄せている人の餌場には、夜、アライグマがやって来て、子ネコも食べてしまいます。

H20～25年、県ではアライグマ1万3172頭を捕獲しました(秩父1655、東松山1100、飯能658頭)。この数の倍のハクビシンがいます。母親は子が近親交配しないようにオスだけ排除するので、オスはわなによく入ります。12～1月、母親がメスの子を連れて「これはわなだからね」と教育して歩く姿がカメラに写っており、学習能力も高い。家の中に入る巧妙な技も持っています。それをご理解頂きたい。日本のアライグマを絶滅させるため、県では昨年から10年間延長してアライグマ捕獲従事者を増やし、退治していく事になっています。イノシシ、シカ、サルにはよくご理解頂いていると思いますが、改めてアライグマおよびハクビシンの恐ろしさを知って頂きたいと思います。

※次週の例会案内は省略。